

食農ビジネス推進センター



連携と共創でひらく
明日の食と農

ABIC

Agri-Food Business Innovation Center



食と農のオープンイノベーションを目指して

食農ビジネス推進センターは、民間企業や農業法人のニーズに応じた研究開発、成果移転を推進する活動や食農ビジネスの創出に向けた先進的な手法開発を行う専門の組織として活動に取り組んでいます。資金提供型共同研究、技術相談など、お気軽にご相談ください。

1. 日本を代表する食と農の研究機関である農研機構と企業とのニーズやシーズを「橋渡し」するプロジェクトメイキングを行います。
2. 民間企業や農業法人とネットワークを構築し、共同研究や製品開発のためのマッチングを行います。
3. 新たな需要開拓やバリューチェーン構築につながるマーケットイン型の研究を提案します。
4. 農研機構に蓄積された技術情報、人材、パテント等のシーズ情報を集約し、わかりやすい形で提供します。
5. 技術移転のノウハウや知見を蓄積し共有することで農研機構全体の成果移転活動のレベルアップを目指します。

食農ビジネス推進センター

「農研機構」では、2018年度から農業・食品分野で科学技術イノベーションを創出し、(1)国民に安全・高品質な農産物・食料を安定供給すること、(2)農業を強い産業として育成し、海外市場で農産物・食料のマーケットシェアを伸ばし、政府の経済成長政策に貢献することを目標として研究を推進します。得られた研究成果は迅速な社会実装や成果の最大化が求められており、食農ビジネス推進センターでは、食農ビジネスの創出に向けたシーズ情報提供によるビジネスマッチング、マーケットイン型プロジェクトメイキング、等を一体的に行う活動をしています。

「ビジネスコーディネーター」は、農研機構内シーズと大学・企業等外部のニーズやシーズを「橋渡し」できる多様なネットワークを構築し、共同研究のマッチング支援やマーケットイン型研究プロジェクトメイキングを行います。

「技術情報調査室」は、共同研究、プロジェクトメイキングや成果移転が円滑に進むよう農研機構内の技術情報を収集します。

今後、食農ビジネス推進センターでは、消費者、農業生産団体、食品企業、流通企業などあらゆるステークホルダーとの関わりを持ち、持続可能な開発目標を目指して国民の豊かな生活の提供のための活動を強力に進めていきます。今後も、農研機構発の科学技術イノベーションを創出できるようスタッフ一丸となって励んでいくつもりですので、引き続き、食農ビジネス推進センターのご活用、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

現場の問題解決へ、農研機構の「強み」を活用ください

■ 優れた新品種の導入

■ 共同で製品開発

■ 特許技術の活用

■ 技術ノウハウ移転



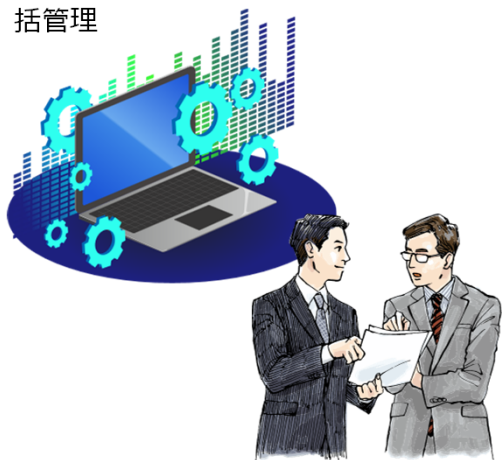
食農ビジネス推進センターの組織と担当ミッション

センター長

- 民間資金導入を基軸とするセンターの運営管理
- 農水省、消費者庁等関係省庁との調整
- 国家プロジェクトを通じた民間企業との橋渡し

統括ビジネスコーディネーター

- ビジネスコーディネーション活動の統括
- 全国規模の企業を対象とした資金提供型共同研究の拡大
- 全国のビジネスコーディネーター活動の把握、統括管理



ビジネスコーディネーター

(つくば・地域センター)

- 全国規模の企業を対象とした資金提供型共同研究の拡大
- 研究部門等から申請があった案件のビジネスマッチング
- 研究部門等における企業からのコンタクト状況把握とフォロー



技術情報調査室

- 本部関係課室及び部門地域農研との連絡調整
- 農研機構の研究成果を集約、整理



機能性農林水産物データベース

機能性成分含有量データベース

<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/nfri/contents/ffdb/ffdb.html>

調理・加工工程におけるビタミン含有量変動情報

<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/nfri/contents/ffdb/vitamin.html>

農産物9品目の研究レビュー

http://www.naro.affrc.go.jp/project/f_foodpro/2016/063236.html

農作物機能性成分データベース

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/research_digest/digest_technology/digest_processing/054838.html

これまでの共同研究(産学官連携)の取り組みから生まれた成果の例

茶品種「べにふうき」を利用した機能性茶飲料

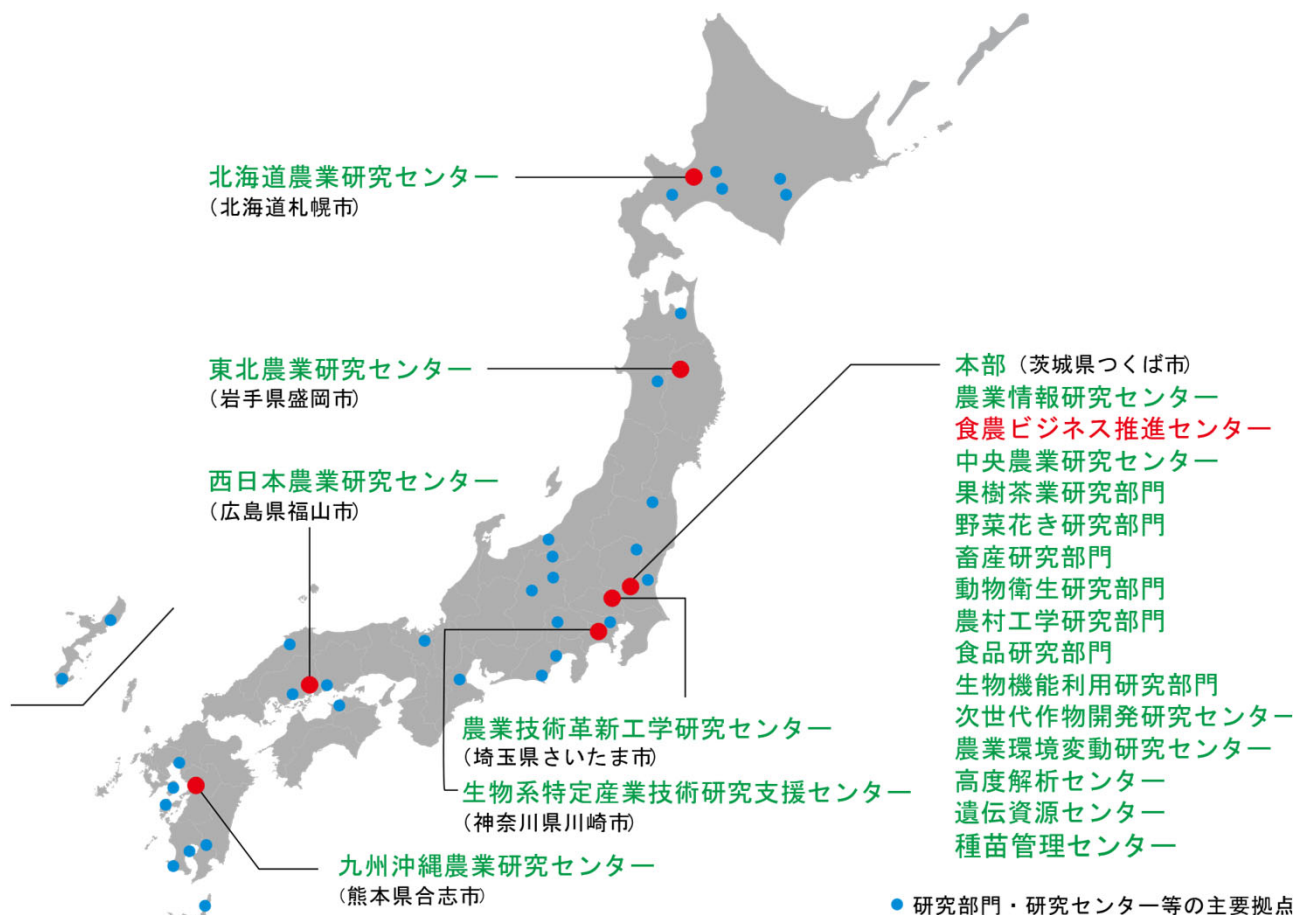


メチル化カテキンの多い「べにふうき」緑茶のもつ抗アレルギー作用（ヒトでの効果）、作用機序を明らかにし、企業等との共同研究でさまざまな飲食品等が製品化されました。

青いキク



農研機構の組織の所在地図



鉄道 & 路線バス

- つくばエクスプレス みどりの駅
 路線バス (平日のみ) : みどりの駅から
 関東鉄道バス「農林団地循環」に乗車 (約15分)
 → 「農林団地中央」下車 → 徒歩 (約5分)
- つくばエクスプレス つくば駅
 つくばセンターから つくば南部シャトル「茎崎窓口センター」
 「茎崎老人福祉センター」行きに乗車 (約16分)
 → 「農林団地中央」下車 → 徒歩 (約5分)
- JR 常磐線 牛久駅
 路線バス : 牛久駅西口から
 関東鉄道バス「谷田部車庫」行きに乗車 (約20分)
 → 「農林団地中央」下車 → 徒歩 (約5分)

自動車 (高速道路)

- 常磐自動車道
 谷田部 IC より約5km
- 圏央道
 つくば牛久 IC より約4km
 つくば中央 IC より約5km